



No. 36 号 成 田 市  
2014 年 11 月 発行



意識から行動へ～ひと  
男女が響き合うまち 成田をめざして～



9月13日、男女共同参画センターと赤坂ふれあいセンターがオープンしました。

★Contents(主な内容)★

- ☆ 平成 26 年度男女共同参画講座開催報告
- ☆ 女性の職場を訪ねてみました VOL.2  
女性のための相談  
男女共同参画センターがオープン

◆男女共同参画社会基本法 5 本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

# ～平成 26 度男女共同参画講座開催報告～

## 第1回 男女共同参画セミナー

- ・実施日 平成 26 年 6 月 24 日 13 時 30 分～
- ・講師 西澤 直子さん  
(慶應義塾福澤研究センター副所長)

男女共同参画週間にあわせ開催した第1回セミナーでは、福澤諭吉の研究者である西澤直子先生から「福澤諭吉の近代化構想と女性論・家族論」と題して、明治の思想家で教育者でもある福澤の女性論を中心に学びました。

福澤は『近代社会は「一身独立」(精神的・経済的自立)した男女が、対等に交際し、社会が形成され、そのうえで一家独立、一国独立する』ものと考えていたこと、近代化構想のなかで女性や家族はどのように位置づけられていたのか、また、近代化を支える女性論、男性論、男女交際論、家族論について講師から分かり易く説明がありました。



近代社会における家族の役割についても、家族団欒がもたらす精神的安定や家業がもたらす経済的安定、家の美風がもたらす公德の形成、家産がもたらす資本の形成などに触れながら、個人と家との関係についてお話いただき、これが明治の男性なのかと目を見張る思いでした。

最後に、福澤の家族の写真をスライドに映して、その性格や生き立ちなども含め、福澤を取り巻く家族の様子や暮らしなどが説明され、当時の思う貴重な体験となりました。  
(中佐藤推進員)

## 第2回 男女共同参画セミナー

- ・実施日 平成 26 年 8 月 30 日 10 時 30 分～
- ・講師 堀内 亮輔さん  
(プレイリーダー、保育士)

第2回は毎年開催する子育て世代を対象とした、パパに育児参加・家事参加を体験していただく企画です。昨年の子どもたちの笑顔に魅せられ、今年も体験型のイベント開催としました。

講師は現役保育士でプレイリーダーの堀内亮輔さんをお迎えし、夏の終わりの楽しい一日の始まりです。

レクリエーションや遊びを通じて、子どもたちを育むことを職場(保育園)や地域で実践している堀内さんと、11組35名が親子で楽しめる運動あそびにチャレンジしました。

「むすんでひらいて」の替え歌で、堀内さんが「ほっぺとほっぺ♪」と言うと親子で頬をぴったりつけあって、明るい笑い声が広がります。次々と歌が流れるなか沢山の遊びを教えてもらい、体を動かす楽しさを体験しました。後半は、パラバルーン遊びです。パパ達が広げてくれたその下で、子どもたちは飛んだり跳ねたり、走ったり、床に座ったりと、笑顔で動き回っていました。

「運動会で速く走るには？」との質問には「今はみんなと仲良く体を動かし遊ぶ事が大切、それが速く走れる事に繋がる」とアドバイスがありました。「子どもは遊ぶ事が仕事」を体感した一日でした。イクメンパパ、これからもワーク・ライフ・バランスを大切に、子どもたちとの楽しい時間を過ごしてください。  
(清宮推進員)



## 女性の職場を訪ねてみました VOL. 2

昨年に続いて第2回目は消防署を訪ねてみました。消防というと、火災・事故・災害救助と現場は危険と隣り合わせで、とかく男性のイメージが強い職場ですが、成田市消防では現在4名の救急救命士と3名の救急隊員が様々な現場で活躍しています。今回は、赤坂消防署公津分署で救急救命士として活躍している田村さんを訪ねてみました。



公津分署に着くとすぐに湯浅分署長と田村救命士が迎えてくれました。公津分署には20名が配置され、そのうち女性は2名とのこと。忙しいなかでも笑顔でインタビューに応じてくださいました。

Q：志望動機と仕事の内容は。

A：動機は、高校生の時、会社説明会で救急救命士はやりがいがあり、「カッコいい」職に思ったからです。誰よりも早く最初に現場に到着し、一番初めに患者と接し、

病気・怪我の程度を判断し、多くの命を救うことが出来ると思い、救命士を志しました。仕事は救急車の乗務が主なものになり、1台に3名で乗務し、患者の搬送をします。救急車内では、一時的な応急処置や時には「心臓マッサージ」「点滴」、病院との連絡、医師の指示を受けての医療行為、また必要に応じてドクターヘリを要請するなど、様々な判断や対応が必要となります。搬送先がなかなか決まらず不安が募ることもありますが、患者さんに声掛けをしながら救命士として最善を尽くしています。

Q：男性と比較されることはありますか。

A：ないとは言えません。「女性だ」「大丈夫か？」などと言われることもありますが、反対にお子さんやお年寄りからは「あ～、女性でよかった」と安堵感と感謝の言葉を頂いたときは、救命士になって本当に良かったと思います。

Q：勤務体制などはどうなっていますか。

A：男女の区別なく、二部制でシフトされ二十四時間体制の勤務です。日々健康に留意し、体力的にも負けぬようトレーニングルームで体力を養っています。

Q：救急出動が以前と変わったように聞いたのですが。

A：センターのことですね。現在は119番通報をすると、まず千葉県本部の指令センターに繋がります。そこから各署に指令が入り出動となりますが、数分で出動できます。常に管轄内の実態把握をしているのでわからない場所はありません。消防士は麺類を食べないとの風評がありますが、そんなことはありません。麺類も好きですしよく食べます。食事中に緊急出動する時もありますが、ラップをして、帰ってから食べています。

Q：小さい子に救命士になりたいと言われたらどう答えますか。

A：大変うれしいです。この仕事には「判断力」「決断力」が必要なので、それを養うようお話します。

Q：公津分署はどのような職場ですか。

A：20名と少人数ですが、チームワークが良く笑顔が絶えず、女性が働きやすい職場です。たとえば結婚し、子どもを産んでも、生涯、救命士として勤務していきたいと思っています。

このように、以前は男性の職場と思われていた消防署も『女性が活躍出来る』職場に変わってきています。個人の仕事に対する意欲はもちろん、職場環境をつくるためには福利厚生制度の充実や積極的な女性の雇用や同僚のサポートなど、様々な配慮や工夫、努力が必要です。女性も男性も個性と能力を発揮し、共に協力し合える『男女共同参画社会』が待たれています。

公津分署のみなさん、ご協力ありがとうございました。田村救命士、今後ますます研鑽を積み、ご活躍されること期待しています。頑張ってください。 (高垣・一鍬田・湯浅推進員)



# さざなみインフォメーション

## 『女性のための相談』

### お気軽にご利用ください

市では、毎週木曜日に『女性のための相談』を実施しています。

自分自身の生き方、夫婦や家族のこと、職場・地域での人間関係、セクシャルハラスメント、配偶者等親しい者からの暴力（DV）等女性が抱えるさまざまな問題を経験豊富な市外在住の女性カウンセラーがお受けします。1回あたりの相談時間も50分として、落ち着いた雰囲気でご相談いただけます。

○市内在住者が利用できます。

○相談は午前10時～12時、午後1時～4時の1時間毎で、1日5回実施しています。

○秘密は厳守いたします。

○予約制です。予約は午前8時30分～午後5時まで（月～金）企画政策課で受け付けます。TEL 0476-20-1500

★DV等で緊急のご相談は同課、またはお近くの配偶者暴力相談支援センター（印旛健康福祉センター）043-483-0711へ

### ◆おたより募集中！

☆男女共同参画に関する意見・感想などを送ってください。お待ちしております。

☆おたよりの送付先

〒286-8585 成田市花崎町 760

成田市企画政策部企画政策課

男女共同参画係

☎20-1500 ファックス 24-1006

Eメール [kikaku@city.narita.chiba.jp](mailto:kikaku@city.narita.chiba.jp)



## 男女共同参画センターがオープン

9月13日に赤坂ボンベルタ百貨店アネックス館B棟2階に『男女共同参画センター』がオープンしました。センターは、男女が個性と能力を發揮し、共に協力し合う男女共同参画社会の形成を推進するための自主的な学習と活動の拠点施設です。

センターでは、フリースペースのミーティング室の他、予約により3室の貸し出しが可能です。また、共同参画社会の推進を目的とする団体（認定団体）を募集するとともに、その他の方々にも広くお使いいただけます。

開館時間：午前9時から午後9時まで

休館日：12月29日～1月3日

使用料：1時間あたり

会議室 210円（夜間270円）

活動室 100円（夜間120円）

多目的室 50円（夜間60円）

お問い合わせ先は、TEL 0476-36-5569

Fax 0476-20-6143

認定団体に関するお問い合わせは左記の企画政策課（20-1500）へ



編集後記：10月15日政府の「すべての女性が輝く社会づくり本部」の事務局の看板かけが行われました。同事務局は30人体制で女性の就業や子育ての支援策の「政策パッケージ」の実現に向けた司令塔です。女性が用いられることはその力が試されることでもあります。女性の皆さん、元気な日本を取り戻すため頑張りましょう。

※さざなみは、支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚・公津の杜コミュニティセンター、男女共同参画センター、市ホームページ（<http://www.city.narita.chiba.jp>）にあります。登録番号成企14-036